

農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定に基づき、公表します。

佐倉市長 西田 三十五

市町村名 (市町村コード)	佐倉市 (122122)	
地域名 (地域内農業集落名)	岩富町 (岩富町)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月25日 (1回)	

注 1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注 2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、農業者の高齢化及び後継者の不在による、担い手不足が課題となっている。 水田については、他地区の認定農業者（主に 2 名）による耕作面積が大きく、今後はその 2 名に集約されていくことが見込まれる。 また、イノシシ被害も発生しており、そのために耕作を断念している水田も生じている。 【地域の基礎的データ】 農業者：18名 主な作物：水稻、露地野菜など
--

(2) 地域における農業の将来の在り方

・水田：後継者不在の水田については、主要な担い手 2 名への集約を進める。 ・畑：新規就農者等への積極的な農地集積を進める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	44 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	44 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進める。また、担い手への農地集積を進め、遊休農地の発生を抑制する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付けを検討、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組方針
経営の安定化を図るため、国等の補助事業の活用も含め、必要に応じた用排水施設の改修に向けて地域の話し合いを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
市町村やJAと連携し、地域内外から経営体を募集し、栽培技術などの支援や生産する農地を斡旋し、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
特に無し

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①イノシシ等による被害が拡大しないよう、わな等の設置を行うとともに、佐倉市鳥獣被害対策実施隊との連携を進めるなど、地域の内外から人材の確保・育成に努める。

⑦多面的機能支払交付金活動組織による農道の草刈りや補修等の維持管理を継続して実施していく。

